

# さくらに木

(題名は校歌より)

さいたま市立宮前小学校

**学校教育目標**

- ・本気で勉強しよう
- ・心をみがき、体をきたえよう
- ・人のためになろう

在籍児童数680名 学級数25

## ウェルビーイング (Well-being)

校長 高田 信太郎

宮前小学校の体育館の南側のなごみの小径に、昨年度植えたアジサイが、鮮やかな色の花を咲かせています。西区の花でもあるアジサイが、校内でも鮮やかな花を咲かせています。梅雨入りも間もなくのようです。



先月の子どもたちの活動を振り返ってみます。6年生は、5月9日に、3校親善球技会がありました。宮前小、指扇小、指扇北小の3校が指扇小

に集まり、バスケットボールの試合をしました。他校と触れ合う機会は少ないですが、試合を通して、お互いに6年生としてがんばっていることを実感できました。さらに、29日には、社会科見学で国会、東京タワーに行きました。参議院の体験プログラムに参加した後、議事堂を見学し、教室での学習が身近に感じられたことと思います。

5年生は、25日に管弦楽鑑賞教室がありました。4年ぶりの開催です。市内の5年生がソニックシティに集まり、本物のオーケストラを鑑賞しました。3年生は、学区探検に出かけ、地図にまとめています。このような学校外での活動も、今年は多くの学年で行われます。学校外だからこそ学べることも多くあります。

校内では、2年生が1年生を連れて校内を巡る校内探検がありました。2年生が、学校のことを1年生に教える等の関わりを通して、お互いに成長していきます。こうした異学年の関わりも必要な活動です。

休業日も、学校で様々な活動が行われています。27日(土)、今年度の土曜チャレンジスクールが始まりました。地域の方を講師に招き、いろいろなことを教わります。この日は、秋に収穫するサツマイモの苗を植えました。また、校庭では、おやじの会によるペンキ塗りがありました。子どもたち、保護者、100名以上が参加し、築山等がきれいになりました。

子どもたちは、様々な関わりを通して学んでいきます。その中で、達成感をもったり、希望や夢をもったり、他者へ関心をもったりしていきます。

ウェルビーイング (Well-being) という言葉を最近によく見たり聞いたりします。元々は、戦後、WHOで健康の定義としてつかわれていたようで「良好な状態」「心身ともに健康で、持続的に幸福な状態」という意味だそうです。

最近では、一人ひとりの多様な幸せ、社会全体の幸せという意味でウェルビーイングがつかわれています。子どもたちにとって、授業が楽しい、クラスや学校のみennaという時間が楽しい、そして、自分の将来に希望をもち、みんなの幸せを願えるそんな子どもたちになってほしいと思います。これからも、宮前小学校は、多くの人とのつながりを通して、この地域、学校、そして世界をよくしていきたいと思える子どもたちを育てられるよう、これからも皆様とともに歩んでまいります。